



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2016年1月28日]

第68回映画大使「信長協奏曲(のぶながコンツェルト)」

- ・ 期日 平成28年1月23日(土曜日) ※公開初日!
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

2014年10月から12月に“月9枠”で放送されて人気を博した、石井あゆみ原作の同名コミックを実写化したテレビドラマの劇場版。

戦国時代にタイムスリップした上に、自分と瓜二つであった織田信長の代わりを務めることになった高校生の運命を描くアクション時代劇、青春群像劇、ラブストーリーと見所盛り沢山の笑って泣けるエンターテインメント超大作。

主人公の高校生・サブローと織田信長の一人二役は『ルパン三世』などで人気を博す小栗旬が、妻・帰蝶を『大奥』の柴咲コウ、家臣・池田恒興を向井理、羽柴秀吉を山田孝之といったまさに日本のエンターテインメント界を牽引する豪華キャスト陣が集結。そして、監督は「라이어ゲーム-再生-」の松山博昭がテレビドラマ版から続投し、テレビ版の豪華メンバーと共に、迫力満点の合戦シーンに加え、武将たちの絆や思惑が交錯する熱いドラマを大画面に描き出す。



(C) 石井あゆみ／小学館 (C) 2016 フジ
テレビジョン 小学館 東宝 FNS27社

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ☆ とてもよかったです！
- ☆ 時間があっという間に過ぎて、飽きることなく観られました！
- ☆ 平和を願っているメッセージが伝わってきましたね！
- ☆ やはり映画はいいなと思いました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

歴史に詳しいわけでは無いので、最初は話がわかるかなと思っていました。少しドラマも観ていたのですが、夫婦の愛などの恋愛物も入っていて、すごく現代の部分と重ねられるところがあったので、時間があつという間に過ぎて、飽きることなく観られた感じでした。

信長のどんな状況でも諦めないという気持ちが良かったですね。

映画はテレビと違って大きいスクリーンなので、やはり映画はいいなと思いましたね。

子ども達にも良かったと話し、勧めたいと思いました。

Bさん

タイムスリップという手法を使って、ユニークなストーリーを作る事ができるものだなと感心しました。

終わりに近いシーンでの信長が秀吉に語りかけた台詞は、観客へのメッセージではないかなと思いましたね。

妻の帰蝶と信長の絆が、別の部分でこの作品を素晴らしいものに作り上げたのではないかなと思いました。

私が、もしタイムスリップしたらと考えましたが、過去では歴史を変えられそうにないので、未来に行きたいなと思いますね。

Cさん

私も歴史は苦手ですが前半わかるかなと思っていましたが、だんだん引き込まれていきました。歴史は知らないながらも、恋愛やいろいろな要素が盛り込まれていたのが良かったのだと思いましたね。それと、タイムスリップは面白い発想でしたね。最近、タイムスリップをするというテレビ作品もありますが、この作品でも使っていて、見入ってしまって、楽しく観る事ができました。

妻の帰蝶の存在が大きくて、信長と助け合いながら絆をもって生きていき、最後の言葉で想いが伝わってきましたね。

とてもよかったです。

Dさん

この作品を観て、いつの時代も平和を求める事は同じだなと思いました。戦国時代に生きている人が戦いながらも、心の中では平和を求めているのだろうなと思いましたね。

人が人を愛するという事は、どんな時代でも、女の人は男の人を支えながら、男の人は女の人を支えながら生きている事なのだと思いますね。

Eさん

私も歴史が苦手だったので、「本能寺の変」と最近家族が言っているのを聞いてもわからなかったのですが、この作品を観てこのような事だったのだと思いました。昔勉強したのですが、忘れていましたね。

男の人は今の人もそうなのでしょうが、戦国時代の男の人は大変だったなと思いましたね。合戦のシーンは迫力がすごかったのですが、戦国時代のように多くの人が亡くなって、その人の家族はどうしているのかと考えたら、本当に平和を願う気持ちがよくわかりましたね。

Fさん

この作品は、漫画が原作で、ドラマもあり、今回映画になった事は、なんとなく知ってしまって、過去に勉強をした本当の歴史とどう変わっているのか、違いを観るのを楽しみにしていました。「・・・が・・・になっていた」といったような、本当の歴史と入れ替えた設定があり、次はどのような設定になっているのか、本当の歴史と、この物語の違いを楽しみながら、そして、結末はどうなるのかなと思いつながら観ていましたね。

平和を願っているメッセージが伝わってきました。

Gさん

私も奇想天外な映画だと思いましたね。

2009年から連載されていた漫画が原作になっているようなのですが、まったく読んだことがなく、この作品を観ました。

私は、左側にも右側にも20歳代の恋人同士の方がいる席に座り、二つのカップルに挟まれて観たのですが、一つのカップルの女性の方は、最初は、物を食べたりしていましたが、物語の終わりのほうになって、帰蝶と信長とのシーンで感情移入をして泣かれていて、びっくりしましたね。その姿をみて、この作品は若い方に人気があるのかなと思いました。20歳前後の女性の方が多かったと思いますね。やはり漫画を読まれている方が多いのでしょうか。漫画を読んで、受けた感情と映画を観ての感情を確かめに来られたのですかね。

漫画を映画化して、今日のように沢山のお客様が入る作品を作った監督は、すごいなと思いました。

Hさん

私も、Gさんと同じように二つのカップルに挟まれて観ました。カップルの方が多作品なので、原作の漫画を読んでいる世代の方が観に来るのかなと思いましたね。

私は原作を読んでいなかったのですが、小栗旬さんが信長役で出演されていた事と、Mr.Childrenの主題歌「足音」も耳に残っていたので、観に来たいなと思っていました。

人間の憎しみは昔から家族を殺されたような身近なところから生まれたものが、自分の中で続いていて、大きな争いになってしまうようにエスカレートするものなのかなと思いましたね。今ある世界の争いも、元はそういう身近なところで生まれた憎しみが、大きな争いにまで発展してしまっているのかなと思いました。平和はみんなが望んでいる事だと思いますが、なかなか実現されません。平和は人間の心に満たされない事があるうちは、実現しないのかなと思いましたね。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・知り合いの方でも、この作品を観たいと言っている方が何人かいますね。
- ・この作品のエンドロールを観て、多くの方の名前が書かれていたので、映画を一本作るのは大変な事なのだなと思いましたね。
- ・Mr.Childrenの主題歌をもっと聞いていたいなと思いましたね。
- ・原作の漫画は、本物の歴史をうまく入れ替えているので歴史をよく勉強して描かれているのだなと感じましたね。

まとめ

この作品に関しては、原作の漫画があり、テレビ放映もされており、さらに本物の歴史もあるため、その人によりかなり知識にばらつきがある状況だと考えられます。その中で、それぞれの人それぞれ違った楽しみかたのできる作品であると感じました。歴史に詳しい方からみると、どのように本物の歴史と入れ替えているのか、テレビシリーズを観ている方からすると結末は・・・などです。

また、公開初日の夜の回という事もあってか、若い方やカップルの方など多くの観客の方が来場しており、人気の高さや、注目度の高さがうかがえます。さらに洋画と違いエンドロールが短い事、ラストにメッセージがある可能性があると考えられるとはいえ、最後の最後まで誰一人席を立ちませんでした。それは、豪華キャスト陣を結集させて作られている事もありますが、アクション、青春群像劇、ラブストーリーなど多くの要素が詰まっているこの物語を、演出や話の展開のうまさで、観客を作品に入り込ませているからなのではないかと思えます。

そして、もう一つ劇中の音楽や、Mr.Childrenの主題歌が素晴らしい事もその要因であると考えます。

映画大使の方から、この作品が元々漫画である話が出た際に、漫画の作品が多く映画化されているがなぜかという話になりました。その際、漫画は作品として世に出る段階でしっかりと時代考証や下調べをしているので完成されており、脚本が作りやすいため、映画の題材としても多く使われるのではないかという話が出されました。この作品も、原作の漫画の段階でかなり下調べをしていると思われ、歴史に名を残している偉人の中に、本当に未来からタイムスリップをした人もいるのではないかと考えてしまうほどでした。

この作品は、テレビシリーズの続編であるため、テレビで同作品を観てから映画を映画館で観る方にとっては、映画を大画面で観る醍醐味がよりよく感じられるのではないかと思います。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.